

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三菱倉庫(株)茨木5号配送センター	階数	地上5階
建設地	大阪府茨木市下井町	構造	RC造
用途地域	都市計画区域、第五種高度地区、準	平均居住人員	76人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年8月30日
敷地面積	25,931 m ²	作成者	竹中工務店 齋藤
建築面積	6,748 m ²	確認日	
延床面積	26,054 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 4.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>本計画は、大規模な物流倉庫でありながらも、外装材や内部仕上げに木調の素材を使用すること、リフレッシュコーナーや広い食堂を設けるなどにより、スタッフへのアメニティ向上を図った。外装についても、シンプルな矩形形状とすることで、周辺への圧迫感を軽減するよう配慮した。</p>	
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>外装材には、必要に応じて断熱を施し、かつ開口部はLowE複層ガラスとすることで、外皮の熱取得を抑える計画とした。また、換気計画においても、全熱交換器を採用し、効率的に室内気候を快適にするよう配慮した。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>スタッフが利用しやすい計画とするため、各所に会議室や事務室を分散配置し、動線を短くなるよう配慮した。また、食堂や休憩エリアは集約し、木調の素材など適宜使用することで、リラックスしやすい環境とし、スタッフ同士</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>LED照明の採用、および人感センサーを各所に配置することで、照明の消費電力を抑える計画としている。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>柱頭免震基礎にエコセメント(ECM)を使用するなど、再生資源の活用を図っている。</p>
	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>敷地全周にわたって、効果的に大きき違う樹木をバランスよく配置することで、立体的に緑地帯を形成し、周辺環境への調和を図った。近隣の住宅に接する面では、中木や高木を配し、近隣へのプライバシーへの影響を低</p>
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>敷地境界での騒音値をシミュレーションにより予測し、騒音発生源となる設備機器のレイアウトを決定している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0048

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	三菱倉庫(株)茨木5号配送センター					
	建設地	大阪府茨木下井町					
	用途/区分	工場 事務所 物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		